

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名						国民健康保険趣旨普及事業		事業区分		担当	
								新規/継続	継続	事務事業No.	010701000392
政策体系上の位置付け								単独/補助	単独	所属課	030201
政策 体系	総合計画の施策名		0107		社会保障制度の健全運営						国保年金課
	政策名		01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名	
	施策名		07	社会保障制度の健全運営						グループ	国保給付G
	手段名		01	①医療保険制度の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	国民健康保険特別会計	単年度繰返し（昭和33年度～）			
	02	01	04	01	01	00	趣旨普及事業	 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠		国民健康保険法									

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 国民健康保険制度の趣旨普及、被保険者の啓発等の事業に関する広報活動を実施することで、国民健康保険財政の健全運営を図ることを目的としている。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・国保納税通知書に啓発パンフレットを同封する。 ・年2回後発医薬品利用の啓発を行い、保険給付費の抑制につなげる。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
・国保納税通知書に啓発パンフレットを同封する。 ・市民祭等イベントに参加し、啓発パンフレットを市民に配布。	パンフレット配布回数	回	2.00	1.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
国民健康保険の被保険者	国民健康保険被保険者数（年度末現在月報）	人	11,300.00	10,850.00	10,350.00	9,850.00	9,350.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	01年度 （実績）	02年度 （実績）	03年度 （計画）	04年度 （目標）	05年度 （目標）
国保税、医療費について被保険者に周知する。	国民健康保険税収入額	千円	988,363.00	944,891.00	900,000.00	889,000.00	870,000.00
	保険給付費（審査支払手数料含む）	千円	3,196,715.00	3,273,953.00	3,230,891.00	2,800,000.00	2,600,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				01年度	02年度	03年度				期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)				
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			0
			県支出金	千円	0	0	0			0
			地方債	千円	0	0	0			0
			使用料・手数料	千円	0	0	0			0
			その他	千円	0	0	0			0
			一般財源	千円	623	482	542			0
			事業費計（A）	千円	623	482	542			0
			正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人			

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)			
	10 需用費	482			10 需用費	542		
			合 計	482			合 計	542

事務事業名	国民健康保険趣旨普及事業	事務事業No.	10701000392	所属課	国保年金課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 国民健康保険制度が発足してから、変遷していく国保制度の趣旨の理解及び保険給付費の抑制するために始められた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 国民健康保険の制度趣旨の啓発であり政策体系と適合している。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 国民健康保険の制度趣旨の啓発であることから妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 啓発方法を変えることはできるが、成果に直接的に結びつかないことから成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 制度改正が多く新たな加入被保険者等が存在することから影響が出る。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない 他に手段がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 事業費及び従事時間は最小限であるため削減の余地はない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 国民健康保険の制度趣旨の啓発であることから公正公平である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	国保被保険者へ国民健康保険制度の周知を図るため、趣旨普及と啓発活動は必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 ☒ ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☐